



6月4日から10日は、歯と口の健康週間です！

歯を失う原因の第1位が歯周病です。日本人の2～3人に1人は歯周炎を患っており、国民病といわれています。歯周病は、糖尿病や動脈硬化等の生活習慣病に関係があり、心筋梗塞や脳梗塞への危険を高めることが分かっています。

幌延町では平成26年度から歯周病検診を行っています。平成28年度からは対象を30歳～70歳に広げ、5年ごとに無料で歯周病検診を受けて歯と口をチェックできるようになっています。

昨年度は44名の方が検診を受けています。検診の結果、異常のなかった方は4名と少なく、90%以上の方が虫歯や歯石・歯周病などで治療が必要な状態でした。

いつまでも好きな物をおいしく食べられるよう、80歳になっても20本以上の自分の歯を保つために、歯と口のチェックを行いましょ。

町では、節目年齢の方と妊婦を対象に**無料歯周病検診**を実施しています。

【対象】 ☆今年度 満30/35/40/45/50/55/60/65/70歳の方
☆妊婦の方

【日時】 平成30年5月1日（火）～平成31年3月29日（金）

【場所】 町立歯科診療所

【料金】 無料（4,931円を町から助成します。）

【その他】 検診予約の方法等は、4月に送付している「歯周病検診案内」を確認または保健センターまでお問い合わせください。いきいきブルピーポイントの対象事業です。

お問い合わせ先：保健センター 電話・告知端末機：5-1790

診療所だより

診療所長：田川 豊秋



頭 痛

広報誌に寄稿し始めて1年が経ちました。キリの良い所で打ち切り！と思っていたのですが、気弱な!?私が担当の方に言い出せるはずもなく、アタマを痛めながらKeyboardを叩いています。．．．というわけで今回は頭痛についてのお話です。

日本人の4人に1人は頭痛持ちだと言われます。皆さんも一度は頭痛薬を飲んだ経験をお持ちだと思います。風邪を引いたときや二日酔いときはもちろん、今の私のように原稿催促のストレスを抱えているようなときに。これらの頭痛や緊張性頭痛と言われる最も頻度の高い(70%以上)タイプのもは、鎮痛薬や安静・マッサージなどで対応可能です。また文字通り頭の片側に拍動性に生じる事の多い片頭痛も内服薬で治療します。

このように大部分の頭痛は外来で対応可能ですが、なかには生命にかかわる病態もあります。特にくも膜下出血に伴う頭痛は、今まで経験のしたことのない強さの頭痛に突然襲われ（雷鳴頭痛と称されます）意識障害を伴うことも多く、早急な専門的治療が必要です。また髄膜炎は小児にもみられる頭痛をきたす疾患で、高熱を呈し頸部前屈が困難になったりします。頭部に起因しない緑内障や副鼻腔炎などに伴う頭痛など、さまざまな原因で頭痛は引き起こされます。頭痛持ちの方も「何だかいつもと違う痛み方だなぁ」と感じられたら受診してみてください。

<追記> 3月号に載せたアレルギー疾患の本格的シーズンを迎えています。毎年のように新しい薬も開発されていますので、お困りの方はご相談ください。